

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200098		
法人名	有限会社 政経		
事業所名	グループホーム静岡駿河の家(1号館)		
所在地	静岡市駿河区中野新田396番地		
自己評価作成日	平成28年8月20日	評価結果市町村受理日	平成28年10月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2015_022_kami=true&jiyosyoCd=2294200098-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年9月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

親しみやすい環境作り心がけていて利用者様とスタッフの距離が近いこと。個々の要望に時間をかけて接する事ができていること。又、一人の利用者様の入浴に掛かる時間を増やしたりと安心して楽しんで頂けるようにしている。行事やドライブなど定期的に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日々、散歩を通しての近所づきあいが、「地域に根付いた笑顔の絶えない夢のある我が家」との事業所理念を推進しています。事業所に住所を移している人たちはホテルで開かれる地域の敬老会で御馳走を堪能するとともに地区の小学生との書簡交換もあり、初詣には町内会のくじ引きに参加させてもらってお米が当選したこともあります。運営推進会議は行政、家族、利用者、職員のほかには、町内副会長を筆頭に、町内会相談役、民生委員、近所の皆さん3名と、地域住民が半数を占めることに特長があり、メンバーだった人が逝くまえに「跡継ぎを」と考え、「お願いね」と新メンバーに引き継いでくれたとの有難いエピソードもあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に根付いた笑顔の絶えない夢のある我が家」という理念を各職員が把握し、それに基づき業務、イベントを行っている	朝礼で週1回法人理念を唱和し、「地域に根付いた～」との事業所理念と併せて推進しています。近所の応援者3名が運営推進会議に出席くださっていましたが、段々と高齢になるなか跡継ぎを考えて「お願いね」と新メンバーにバトンを渡して逝かれたという有難いエピソードもあります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日々利用者様とご近所様との交流もありイベントでの地域への参加も行っている。町内会にも加入している	日々、散歩を通しての近所づきあいがあります。事業所に住所を移している人たちはホテルで開かれる地域の敬老会で御馳走を堪能するとともに地区の小学生との書簡交換もあり、初詣には町内会のくじ引きに参加させてもらってお米が当選したこともあります。	近所づきあいは十分ですが、今後は園児や生徒の訪問(職業体験)等の異世代交流もあるよう、関係各所に働きかけることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて町内会長、ご近所の方をお招きし、ホームの現状をお話している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で取り上げた議題について様々なご意見を頂いてサービス向上に努めている	行政、家族、利用者、職員のほか、町内副会長、相談役、民生委員、近所の皆さん3名と、地域からの参加者が半数を占めることに特長があります。事故報告をした折には、家族から「こういう話してもらえると、より信頼できる」と、事業所にとってやりがいとなる言葉が返っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入居や退去の手続きの相談等連絡する際に近況報告は欠かさず行い協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には地域包括支援センター職員が出席くださっています。市役所からはありませんが議事録は毎回届け、事業所の状況を知ってもらえるよう努めています。またこれまでは出席がないことから出してない「案内」についても再開する予定です。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員が一人の時間帯以外は鍵の施錠など出来る限り行わないようにしている 身体拘束をしないケアに意識し取り組んでいる	近所で置き引きがあったり、事業所にも不審者が立ち寄るといった事が起こり、交番から「この窓はブラインドをするように」と具体的な指導がありました。このような状況を受け施錠箇所が増えていますが、本件に係る伝達は職員に成されています。	「なぜするのか、それはいつまでか」といった事柄とともに、本来はどうあったらいいのかを意識できるような話し合いの場を定期でもつことを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議などで虐待防止について話し合いその防止に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な利用者様については日常生活支援事業や成年後見制度を活用している 日々の会話や職員会議などで学ぶ機会をつくっている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	日頃からご家族様のご意見に耳を傾け状況や症状について丁寧に説明をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加して頂き、利用者様ご家族様外部の方の意見を取り入れている	運営推進会議に出向いてくださる家族は同じ顔ぶれですが、1階、2階各2名ずつ利用者が交替で加わり、意見も挙がっています。担当制を敷いており、長くなると家族も安堵が深くなるのか、退去時に「担当さんへ」と御礼が届いたこともあります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やカンファレンスを開き意見や提案を出し合い改善する機会を設けている	毎月何がしか行事があり、担当職員が割り振られていて、自覚が育つ仕組みがあります。「外部者の眼に触れないようにしてほしい」という職員の気持ちを尊重し、写真と氏名の貼り出しは家族にだけ見ってもらえるリビング奥に変更の予定です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員会議や勉強会を開き個々の意識を高めお互いを高め合っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部での研修も年に数回ありスキル向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議や勉強会を行い、交流をはかりサービスの質の向上を図っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話を親身に聞き、安心して頂けるように努力している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族と積極的に話をし、何でも聞きやすい雰囲気作りを心掛けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の要望に出来る限り沿えるよう、必要なサービス提供出来るようにしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることを見つけ、生活を充実して送って頂けるよう努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に最近の様子をお話する事で近く感じて頂き、共に支えあっている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	思い出の場所、会話の中で出た場所等以外出し、喜んで頂けるサービス提供をする	自宅近くの「桜並木を見たい」との要望に応えたり、利用者と職員2名ずつの外出企画には「声が挙がったら記入してください」と遠足担当の職員が一覧を用意して行事を盛り上げており、「ロイホか、さわやか」「アイスとペットショップ」といった文字が躍っていました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士、良好な関係を築けるよう、個性を把握し、つねに気配りをしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去した利用者様、入院した利用者様にも介護者としてフォローしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望をお聞きし、カンファレンスで職員で話し合っている	利用者は日常の暮らしの中だけでなく、例えば運営推進会議で「どうでしたか?」とふれば、大抵はイベントや外出の感想や意見を述べてくれ、また利用者1名に担当職員がいることで、気軽に言いたいことが言えています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から情報をとり、記録として残している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状態を把握し、一日の流れやリハビリの提案をしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランやモニタリングの作成前にご本人、ご家族に要望を聞き職員で話し合っている	事務所のマンスリーに二重丸を入れてカンファレンスを漏れなく毎月おこない、2階は計画作成担当者が、また1階は介護支援専門員と兼務の管理者がプラン化し、モニタリング実践記録表も毎回書面化しています。	職員の入れ替わりがあったため、介護支援計画に係る知識の標準化を進めることを期待します(新人育成を含む)。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化を申し送りノートや詳細記録に記入し、職員で情報共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況により臨機応変に対応している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節ごとのイベントを積極的に行いご家族との交流の場も提供 民生委員や消防との連携も図り利用者様の意向にできるだけ対応出来るように心がけている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の要望に応じかかりつけ医または提携医に必要に応じて受診している	「訪問診療と看取りをおこなわない」協力医であることから、ターミナルケアは悩ましい状況にありましたが、訪問診療を受ける人の新規入所を契機として、現在訪問診療をおこなう医師に切り替える人が増えています。従来のかかりつけ医を続ける1名のみ家族が受診支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者自らの訴えや入浴等での体の変化を看護師に伝え、相談し対応策を考え支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した祭ご家族だけにまかせず、病院側と情報交換を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と話し合いを行い事業所で出来ることを説明しご家族の意向を伺うと共に検討していくチーム体制をとっている	医療態勢が整わないため、やむを得ず「看取りはおこなわない」ことを家族に了解を得ています。心身状態の変調を早めに捉え、家族の希望に副って転所や入院の支援をおこない、また重度化に際しては訪問診療に切り替え、本人、家族だけでなく職員の安心につなげています。	救急隊への情報提供表は用意されていますが、家族欄がうまっていないため、急ぎ合意形成することを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会や会議等を行い、研修や話し合いの場をつくり、実践力の強化を図っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で地域住民の方々と検討し協力を求めたり避難訓練を通して、問題点については消防隊員より意見を伺う	救急法のマニュアルを年2回、読み合わせる機会も設けています。消防署員の立ち合いでは「煙を吸い込まないように這って避難」「扉のストッパーの用意をすること」「速度が遅い人は常から訓練して鍛えてください」と実践的なアドバイスをしています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けや対応については職員同士で話し合いを常にして利用者様に配慮した対応が出来るか検証している	食事にはデザートスプーンが付き、同じテーブルの仲間が終わるまでゆっくり待ち、また見守り以外の職員は自身の弁当を別室でとっている在り様から、日頃より「利用者の尊厳を大切にしている」姿勢が伝わります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が自己決定が出来るように各利用者様に合わせて働きかけたり説明をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の意見や要望を確認して、可能な限り利用者様のペースに合わせて支援が行えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張理髪店を利用したり、着用する服を利用者様の希望に沿っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲で利用者様の希望の料理を提供し、一緒に手作りしたり片付けをしている	年1回嗜好調査をおこない、手作りの時は定食メニューだけでなく丼物やお好み焼きなどバラエティに富んだ献立をその日の職員が考えています。数名となってしまいましたが、食器洗いと拭きの手伝いには利用者が入っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎日記録し確認している。摂取不足の時には各利用者様に合わせ対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に各利用者様に口腔ケアの声掛けをし、自力で出来ない方は介助している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立の方はそれぞれのペースで行い、行えない方は排泄表を活かし、その都度声掛けをし、様子を見て援助している	車いすがゆうに入る広いトイレが2つあり、自立の3名は中に取り付けた洗面を使って進んで手洗いもおこなっています。尿意を感じられない大半の人には職員が時間をみて声をかけ、誘導しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分量を記録し排泄を考慮して支援している。便秘が続く場合はかかりつけ医に報告し対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間は決まっているが各利用者様のペースに合わせてゆっくり入浴して頂いている	土、日を休浴日として1日おき、週おおよそ2~3回実施され、2~3名が一緒に入ることができる大きな浴槽ですが、「ゆったり過ごしてもらいたい」として1名での利用を旨としています。	汚染エリアと他との衛生管理を含み、脱衣所の5Sを一度見直すことを期待します。また随時改善中とのことですが、引き続き排水口の臭い対策もお願いします。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者様の生活習慣を尊重し、その都度状況に応じた休息や安眠への支援声掛けをするように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎回処方された薬は薬剤師に確認し記録して職員全員が把握できるように努力している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の要望を考慮し、出来る限り外出ドライブ 散歩 カラオケなど希望に合わせて行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩に出掛けたり遠足の時などは家族にも声を掛けて一緒に参加してもらい協力し支援できるように工夫している	月、木の買い出しにはドライブがてら同乗したり、畑とプランターの世話での外気浴もあります。公用車が十分ではないため、菖蒲やタチアオイの花を楽しむには4~5日に分けてのピストンで取組むこともあり、利用者の満足への惜しみない取組みがみられます。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はスタッフなどで安全管理して欲しいものまた、ストックしておきたいものがある場合スタッフが個々の希望を聞いて買物を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の希望にそって電話のやり取りが安心して出来るようにしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには季節やイベントに応じて利用者様とスタッフが共同で作品を飾ったりして季節感を感じられるようにしている	手製のポスターや若い職員がネット検索で見つけた技法で秋のススキを現したり、また折り紙の本を勉強して制作したキャラクターも愛らしく、そこかしこに「頑張っている」様子が見られます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのテーブル、椅子又利用者様が座る位置を考え、利用者様同士の言い争いにならないように配慮している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の大切なものやその場にあって落ち着くような物を家族と相談して持ってきて頂き居心地よく過ごせるように支援している	洗面所、ベッド、カーテン付の収納庫、エアコンと揃う居室に持ち込みは少ないものの、テレビや小さなチェストなどが置かれています。丹精込めて制作した塗り絵を「いつの間にか職員が貼ってくれた」と喜ぶ利用者の話も聞くことができました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日々の利用者様とのコミュニケーションにて個々の能力に応じ、何が出来、何が楽しみか考えて自立した生活が長く続くように配慮を心掛けている		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200098		
法人名	有限会社 政経		
事業所名	グループホーム静岡駿河の家 (2号館)		
所在地	静岡市駿河区中野新田396番地		
自己評価作成日	平成28年8月20日	評価結果市町村受理日	平成28年10月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2015_022_kami=true&jiyosyoCd=2294200098-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年9月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

親しみやすい環境作り心がけていて利用者様とスタッフの距離が近いこと。個々の要望に時間をかけて接する事ができていること。又、一人の利用者様の入浴に掛かる時間を増やしたりと安心して楽しんで頂けるようにしている。行事やドライブなど定期的に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日々、散歩を通しての近所づきあいがあり、「地域に根付いた笑顔の絶えない夢のある我が家」との事業所理念を推進しています。事業所に住所を移している人たちはホテルで開かれる地域の敬老会で御馳走を堪能するとともに地区の小学生との書簡交換もあり、初詣には町内会のくじ引きに参加させてもらってお米が当選したこともあります。運営推進会議は行政、家族、利用者、職員のほかには、町内副会長を筆頭に、町内会相談役、民生委員、近所の皆さん3名と、地域住民が半数を占めることに特長があり、メンバーだった人が逝くまえに「跡継ぎを」と考え、「お願いね」と新メンバーに引き継いでくれたとの有難いエピソードもあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根付いた笑顔の絶えない夢のある我が家という理念をめに入る位置に貼り意識向上に努めている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでのイベント行事の時近所の方にも声をかけている。又地域の行事にもスタッフ、利用者様と度々参加させて頂いている。町内会にも加入している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	主に運営推進会議にて利用者様の現状報告を行う事で認知症の理解を深めて頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して施設の取り組みやサービス状況の報告を行い率直な意見を聞きサービス向上に生かしている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者や町内会長に運営推進会議に参加して頂きご意見をお聞きしサービス向上に努めている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議等で議題に取り入れ話し合いを行っている事で身体拘束をしないケアを意識し取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修や職員会議で虐待について話し合うことで虐待とはどういうものかを理解し防止に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護 成年後見制度を実際に使われている方がいるため学ばせて頂いている。また研修等でも学ぶ機会を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時 契約書、重要事項説明書の説明を十分に行い、利用者様やご家族様の不安や疑問点などは、随時説明し理解納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に意見の出しやすい雰囲気作りに努めている。運営推進会議に利用者様、ご家族様、外部の方々に参加して頂き意見を取り入れている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主に職員会議や朝礼の時に職員の意見を聞き話し合う機会を作っている。また日頃からコミュニケーションを図るようにしている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当を儲けるなどし、職員が目標をもって働けるようにしている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修に参加し勉強する機会を設けている。月に一度本部が作成している資料を朝礼で読み合わせをしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列のグループホーム6施設合同研修会を行い、勉強会、交流の場にもなりサービスについての情報交換なども行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に声掛けをし困っている事があれば色々と聞かせて頂き解決出来るよう心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にご家族様の意向を十分に聞かせて頂き少しでも安心していただけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族様と話し合いを持ち、様々な情報を集め、必要なサービスを提供するよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	1日の流れを本人のペースに合わせて無理せずいちにちを過ごしてもらい良い人間関係を築くよう努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活で少しでも変化があった場合にはご家族様に報告し、三者で話をする事でご家族を近くに感じて頂き、共に支えあっている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなど外出した折には本人の思いを汲み取り懐かしい場所に行くことが出来ている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの性格や利用者様同士の関係を理解し、その上で利用者同士がトラブルなく良い関係を築けるようにフォローに努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話や面会、手紙などで気軽に相談等出来るように努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に利用者様やご家族様の希望や意向を十分に聞かせて頂き情報を集め対応するよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、ケアマネージャーなどから情報を集め把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で生活パターンを記録し分析・把握するようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心にご本人・ご家族・職員と話し合いそれぞれの意見やアイデアをケアプランに反映させている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・介護詳細記録・申し送りノートに記入し、職員皆が確認し情報の共有を図り実践に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の関わりの中で、利用者の要望を汲み取り、外出や外食に出掛けたりと日々の業務をこなしながら対応を心がけている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事や運営推進会議でご家族や近隣の方々の情報や意見を受けながら利用者様が安全に社会へ参加し充実した生活が送れるようにしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様本人とご家族の希望と意志に応じ、かかりつけ医又は提携医に定期的又は必要に応じて受診している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の食事 排泄 入浴時の体の変化の気づきや受診後には受診メモを取り、看護師に報告し相談を行う		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院先の病院へ見舞い、週一回以上は訪問して医師や看護師又はケースワーカーなどに状態や意見を伺っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態や希望を家族と話し合い、事業所で出来る事を理解して頂き、必要であれば他施設又は病院等への異動を検討できる体制をとっている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員会議等で応急手当や初期対応の勉強会を行い急変時の対応に備えている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々な状況を想定し、避難訓練を行い問題点・優先行動等を消防士より意見を伺い職員会議や運営推進会議で検討している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しみの中に敬意を払って名前や言葉を掛けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の状態や性格に合わせて自己決定出来る環境づくりをコミュニケーションを通して行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意欲やペース状態を考慮し、希望に沿って過ごせるよう提案や支援をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整った髪型をお褒めしたり、洗面台のヘアブラシ・石鹸・シェイバーの不足や取り替えなど必要に応じ介助し支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理や食材の好みを把握しメニューを伝えたり一緒に準備をしたり、食後に食器拭きなど片付けをしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量や水分量を記録し不足がないか把握し声掛けや摂取しやすいものを出す工夫をする支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声掛けや必要に応じて介助を行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その人に合った排泄の間隔を把握しトイレ誘導を行い出来る事は本人にやって頂き自立に向けた支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	歩行トレーニングやでんでん体操を毎日行い10時のお茶の時間に牛乳を提供している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯は決まっているが拒否があった日は次の日にする等その人に合った支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室にて過ごす時には快適な居室の温度を保ち夜間も安心して眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の増減があった時などは等に薬の効果副作用を把握し症状に変化がないか観察している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	気分転換の為散歩や計算問題、ぬり絵、料理等その人に合った事をして頂き楽しみを増やす支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望により外気浴、散歩、ドライブ等行くようにしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所にて保管している事が多いが本人の能力に応じて本人が所持している方もいます。一緒に買物へも同行します。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があった場合は電話をかける支援を行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節に応じた掲示物や行事の写真を飾り居心地よく過ごせるよう温度調節を行っている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の席の他にソファがあり利用者同士で会話をしたりテレビを見たりできる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前使っていた物、使い慣れた物を持って来て頂き継続して使ってもらう事で居心地よく過ごせるようにしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事、分かる事を把握し、できる事はやって頂き出来ない事は安全に出来るように支援している		